

別添：JSCT Haplo17 RIC 臨床研究 共同研究実施医療機関および研究責任医師一覧

2019年12月20日 作成

研究実施機関	所属部署	職名	研究責任医師	住所	電話
北海道大学病院	血液内科	診療科長・教授	豊嶋 崇徳	札幌市北区北 15 条西 7 丁目	011-706-7214
社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	血液内科	診療部長	太田 秀一	札幌市白石区東札幌六条 6-5-1	011-865-0111
秋田大学医学部附属病院	血液内科	助教	奈良 美保	秋田市広面字蓮沼 44-2	018-884-6116
山形県立中央病院	血液内科	輸血部長	大本 英次郎	山形市青柳 1800	023-685-2626
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院	血液内科	診療科部長・教授	池添 隆之	福島市光が丘 1	024-547-1193
がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科	医長	土岐 典子	文京区本駒込 3-18-22	03-3823-2101
横浜市立大学附属病院	血液・リウマチ・感染症内科	講師	萩原 真紀	横浜市金沢区福浦 3-9	045-787-2800
東海大学医学部附属病院	血液腫瘍内科	准教授	鬼塚 真仁	伊勢原市下糟屋 143	0463-93-1121
愛知医科大学病院	血液内科	医師	堀尾 知弘	長久手市岩作雁又 1 番地 1	0561-62-3311
岐阜市民病院	血液内科	部長	笠原 千嗣	岐阜市鹿島町 7-1	058-251-1101
愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科	副院長	河野 彰夫	江南市高屋町大松原 137	0587-51-3333
近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科	診療部長・教授	松村 到	大阪狭山市大野東 377-2	072-366-0221

関西医科大学附属病院	血液腫瘍内科	講師	佐竹 敦志	枚方市新町 2-3-1	072-804-2503
金沢大学附属病院	血液内科	助教	岩城 憲子	金沢市宝町 13-1	076-265-2274
神戸市立医療センター中央 市民病院	血液内科	部長	石川 隆之	神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1	078-302-4321
兵庫県立がんセンター	血液内科	部長	村山 徹	明石市北王子町 13-70	078-929-1151
医療法人 原三信病院	血液内科	部長	上村 智彦	福岡市博多区大博町 1-8	092-291-3434
九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科	助教	吉本 五一	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-5230
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科	部長	衛藤 徹也	福岡市中央区長浜 3-3-1	092-721-0831
久留米大学病院	血液・腫瘍内科	診療科長・教授	長藤 宏司	久留米市旭町 67	0942-31-7852
長崎大学病院	血液内科	病棟医長	澤山 靖	長崎市坂本 1 丁目 7-1	095-819-7380
大分県立病院	血液内科	部長	宮崎 泰彦	大分市豊饒 476	097-546-7111

1. 資金源及び財政上の関係

本研究は、一般財団法人地域医学研究基金から助成された JSCT 研究会の研究費により実施される。尚、本研究は一般財団法人地域医学研究基金の基金に研究助成応募を行い、医学的な視点から公正に研究助成選考が行われており、特定の企業・団体の利益や便宜をはかるものではない。また、本研究の進捗状況や成果について年度毎に報告書を作成し、一般財団法人地域医学研究基金へ提出している。

2. 研究代表医師の利益相反管理

研究代表医師である北海道大学大学院医学研究科 血液内科学分野 豊嶋 崇徳は、本研究に用いる試験薬 タクロリムス水和物注射液、タクロリムス水和物カプセル、タクロリムス水和物顆粒を製造販売しているアステラス製薬株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を血液内科学講座に受けている。

研究代表医師は、利益相反管理基準を定め、実施医療機関の管理者による事実確認を行い、利益相反管理計画を作成する。研究代表医師は、利益相反管理基準及び利益相反管理計画について、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

3. 研究責任医師・研究分担医師等の利益相反管理

東北大学病院 血液・免疫科の研究責任医師である張替秀郎は、本研究に用いる試験薬 タクロリムス水和物注射液、タクロリムス水和物カプセル、タクロリムス水和物顆粒を製造販売しているアステラス製薬株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を血液免疫学分野に受けている。

近畿大学病院 血液・膠原病内科の研究責任医師である松村到は、本研究に用いる試験薬 注射用シクロホスファミド水和物を製造販売している塩野義製薬株式会社と、本研究に用いる試験薬 ミコフェノール酸モフェチルカプセルを製造販売している中外製薬株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を内科学教室 血液・膠原病内科部門に受けている。

本研究において、利益相反申告者となる研究責任医師・研究分担医師及び統計解析責任者は、実施医療機関の管理者に研究者利益相反自己申告書を提出し、事実関係の確認を依頼し、利益相反管理計画を研究代表医師に提出する。研究代表医師は、当該利益相反確認報告書を受け取りその内容を踏まえ、利益相反管理計画を作成し、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

4. JSCT 研究会の利益相反管理

JSCT 研究会へ研究助成している一般財団法人地域医学研究基金へは、本研究に用いる試験薬の製造販売をし、又はしようとする医薬品等製造販売業者からの寄附等の資金提供は受けていない。研究代表医師は、利益相反管理基準及び利益相反管理計画について、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聞き、適切な管理を行う。

以上